

## 平成25年度

### 消防委員会（第2回）会議結果

- 1 開催日時 平成25年12月17日（火）午後3時30分～5時15分
- 2 開催場所 成田市花崎町760番地  
B101会議室
- 3 出席者  
消防委員  
宍倉日出夫、平野省二、大木邦男、北崎清志、豊田いつ子、宮野茂、  
一畝田俊樹、朽木茜、戸羽幹夫、白岩清  
10名  
消防本部  
消防長（内田廣）、次長（小貫和雄）、予防課長（黒田効）、警防課長（佐藤一雄）  
指揮指令課長（檜垣正吉）、成田消防署長（西山勝男）、赤坂消防署長（石井武志）  
三里塚消防署長（根本眞司）、大栄消防署長（橋本善和）  
9名  
消防団  
団長（村島義則）副団長（岩立一郎）  
2名  
事務局  
消防総務課長（大谷昌利）、消防総務課長補佐（大野勝也）、  
総務課員（平山剛士、今良彰）  
4名
- 4 議事  
議案第1号 成田市消防団規則の一部改正（案）について  
成田市消防団規則の一部改正（案）について説明を行った。説明後に委員から出た質問・意見及び回答については次のとおり。  
《質問》  
他市町村を見ると、役員数はもっと多い気がするのだが、考慮できないのか。  
《回答》  
消防団活性化検討委員会、本部役員会議等で検討した結果の増員数となっております。  
《意見》  
もっと役員が若返ってもいいのではないか。その方が若い団員が入りやすい。ただし、団員の確保も難しい中で役員だけ若くなるのはどうなのか。  
《回答》  
本部役員だけでなく、地域役員、部長、班長の数についても活性化検討委員会で検討してまいります。  
《質問》  
団員数が少ない地区の車両について、運用できなくなる車両も出てくるのではないか。地区の合併も考慮して欲しい。

《回答》

部を統合して車両を減らすことは地域防災力の低下を招く可能性があり、地元には器具庫を残して欲しいという要望もありますので、隣接する部、分団全体で対応していただきたいと考えております。

《質問》

役員の選考基準はあるのか。

《回答》

役員について選考基準はありません。部長、班長は各部で選考していただいております。本部役員については本部役員会議で選考し、地域役員については地域からの推薦により、本部・地域役員会議の承認を得て選任しております。

議長である宍倉委員長により各委員に諮ったところ、委員全員により議案第1号成田市消防団規則の一部改正（案）について承認された。

報告第1号 成田市火災予防条例の一部改正について

消防法施行令第37条の改正に伴い、成田市火災予防条例の一部改正について報告を行った。

報告第2号 台風26号に対する消防活動概要について

平成25年台風26号に起因する災害及び活動概要等について資料に基づき報告を行った。

報告第3号 三里塚消防署庁舎整備事業について

三里塚消防署庁舎整備事業について資料に基づき進捗状況等の報告を行った。報告後に委員から出た質問及び回答は次のとおり。

《質問》

空港内の消防チームとの兼ね合いはどうなのか。

《回答》

今後、消防力の見直しも含めて、成田国際空港株式会社とも連携を取りながら対応してまいります。

《質問》

仮設車庫に化学車は入るのか。

《回答》

化学車が入るよう仮設車庫を設計いたします。

## 5 その他

《意見》

火災の鎮火メールが入るようになったので、誤報のメールも入れてほしい。また、神崎町の火災のメールが入らなくなったので、こちらも対応していただきたい。

《回答》

現在、鎮火と誤報については指令課員が手動で入力、配信しております。従来どおり作業を行っておりますが、再度調査して対応いたします。

《意見》

台風26号で防火水槽の脇がえぐれてしまい、土砂が田んぼに入ってしまった。

農地に入ってしまった土砂について自分たちで対応するのは難しいので、防火水槽の復旧工事と合わせて取り除いてもらえないか。

《回答》

現在、所有者の方にもご協力をいただきながら関係機関と調整してまいります。

《意見》

年度末までの各課の主要行事をわかる範囲で教えていただきたい。

《回答》

消防総務課	1月10日	無火災祈願
	2月9日	成田市消防出初め式
	3月	消防団器具庫点検、第3回消防委員会
予防課	3月	火災予防運動
警防課	1月31・2月1日	千葉県広域応援訓練
	2月16日	高速道路（東関東自動車道下り線・酒々井PA）での訓練
	3月	患者搬送事業 6事業所資格取得講習
指揮指令課	1月～	車両AVM端末更新
	2月	共同指令センター協議会幹事会

6 次回開催日時（予定）

平成26年3月中旬

7 指揮指令課 改修工事完成状況見学